

(別添資料1)

事業所名 児童発達支援施設 ぼの 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025 年 1 月 27 日

法人（事業所）理念	～ひとりひとりのカラーを大切に～		
支援方針	児童発達支援施設ぼのは、児童が就園・就学や将来の自立のために、日常生活又は集団生活を営むことができるよう、コミュニケーション力・生活スキル・社会性等の向上を図るための指導、その他の便宜を適切かつ効果的に行います。また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細やかな児童発達支援を提供します。		
営業時間	平日 8 時 30 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	定期的な健康チェックとして、登所時の検温・体調をお聞きしています。過ごし方の流れを統一し、スケジュール表にてその日の活動内容を知ることで、生活リズムの安定を図れるようにしています。	
	運動・感覚	始まりの会に、リトミックなどを取り入れて体を動かすやすくしてから支援を行っています。感覚統合の遊びを多く取り入れ、その他微細運動や筋力・体幹トレーニングなども含めて、土台となる感覚を楽しく育めるよう支援しています。近隣の公園や消防署などの施設外での活動も取り入れています。	
	認知・行動	始まりの会で、その日の日付・曜日・天気・名前の把握と確認を行うことで、感覚・数・人の認識を形成します。活動スケジュールを設定したり、カウントダウンタイマーの使用により時間の認識を形成します。小集団での活動を通して適切な行動形成を育みます。生き物、食や季節への興味など感性形成を構築するため、野菜と一緒に育てる事や動物と一緒に育てる事や外出などを取り入れています。	
	言語 コミュニケーション	活動内容・ルールなどを絵カードなどの視覚支援を用いて行います。毎回自由遊び・始まりの会・終わりの会を行い、コミュニケーションを図ります。個別支援・小集団支援の中で言語支援時間を設けています。	
	人間関係 社会性	遊びの中で、小集団で行動・役割分担・ルール理解できる機会を設けています。	
家族支援	ご家族に寄り添い安心して生活を送れるようにするため、必要に応じてお子さまの情報共有や相談援助等を実施します。	移行支援	お子さまが地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関との連携を行います。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの支援体制の構築を図るため、必要に応じて保育所等の子育て支援機関等との連携を実施します。 ・お子さま・ご家族に関する機関と、支援方針を検討するための会議を開催します。 ・お子さま・ご家族のことに、医療機関等の専門機関や児童委員などの地域関係者と必要に応じた連携を行います。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が利用児童に同様の支援ができるように、月1回の職員会議に加え、報告・連絡・相談できる時間を設け、支援振り返り表の作成を行い、支援状況がいつでもわかるように連携を行います。 ・年1回以上の外部・内部研修への参加を行います。
主な行事等	外出（公園、消防署、季節の行事：夏プール・水遊び、秋：落ち葉拾いなど） お誕生日会、制作（1回/月）、避難訓練、野菜栽培		